

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループの主たる事業である電気事業では、節電・省エネルギーへのご協力をいただいたことなどから、総販売電力量は306億6千万kWhと、前年同期に比べて2.9%減少しました。

収入面では、電気料金の値上げを行ったものの、販売電力量の減少や燃料費調整単価の低下などにより電灯電力料収入は減少したが、再エネ特措法交付金が増加したことなどから、電気事業営業収益は増加しました。また、情報通信や生活アメニティなどのその他事業営業収益も増加したことから、売上高は799,113百万円と、前年同期に比べて7,833百万円の増加となりました。

一方、支出面では、徹底した経営効率化に努めたことに加え、燃料価格の下落により火力燃料費が大幅に減少したことなどから、営業費用は715,317百万円と、前年同期に比べて115,768百万円の減少となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

【連結経営成績】

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期(累計)	平成28年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
売 上 高	791,279	799,113	7,833	1.0%
営 業 損 益	△39,805	83,796	123,601	—
経 常 損 益	△32,281	80,744	113,026	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△29,041	52,914	81,955	—

【販売電力量】

(単位：百万kWh)

		平成27年3月期 第1四半期(累計)	平成28年3月期 第1四半期(累計)	前年同期比 (%)	
特定規模 需要以外 の需要	電 灯 計	10,043	9,946	99.0	
	電 力	低 圧	957	987	103.1
		そ の 他	188	173	91.8
		電 力 計	1,145	1,160	101.3
電 灯 電 力 計		11,188	11,105	99.3	
特 定 規 模 需 要		20,392	19,555	95.9	
合 計		31,580	30,660	97.1	

(注)四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

科 目	平成27年3月期末	平成28年3月期 第1四半期末	増 減	
資 産	7,743,378	7,564,014	△179,364	△2.3%
負 債	6,683,158	6,418,572	△264,586	△4.0%
(うち有利子負債)	(4,315,256)	(4,239,655)	(△75,600)	(△1.8%)
純 資 産	1,060,219	1,145,441	85,221	8.0%

自 己 資 本 比 率	13.4%	14.8%	1.4%
-------------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期(累計)	平成28年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
設 備 投 資 額	73,595	87,877	14,282	19.4%
減 価 償 却 費	95,154	90,767	△4,387	△4.6%

資産は、減価償却の進行などにより電気事業固定資産が減少したことや、短期投資（譲渡性預金）が減少したことなどから、前年度末に比べて179,364百万円減少（△2.3%）し、7,564,014百万円となりました。

負債は、買掛金などの流動負債が減少したことや、有利子負債が減少したことなどから、前年度末に比べて264,586百万円減少（△4.0%）し、6,418,572百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益（52,914百万円）を計上したことなどにより、前年度末に比べて85,221百万円増加（+8.0%）し、1,145,441百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて1.4%上昇し14.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の利益予想につきましては、供給力の見通しが不透明であることなどから、一定の前提を置いて業績を想定することができないため、未定としておりましたが、最近の需給状況等を踏まえ、業績予想を算定しましたのでお知らせいたします。

なお、通期業績予想につきましては、供給力の見通しが不透明であり、また、下期の販売電力量に及ぼす節電等の影響が見通せないことなどから、現時点では一定の前提を置いて業績を想定することができないため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

【連結業績予想（第2四半期累計期間）】

(単位：百万円)

	前回予想 (5月)	今回予想	増 減	
売 上 高	1,690,000	1,670,000	△20,000	△1.2%
営 業 損 益	—	150,000	—	—
経 常 損 益	—	140,000	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	—	93,000	—	—

なお、第2四半期累計期間の業績予想につきましては、以下のような前提で算出しております。

【主要データ（第2四半期累計期間）】

	前回予想 (5月)	今回予想
販 売 電 力 量	676 億 kWh	666 億 kWh
原 子 力 利 用 率	—	0.0%
出 水 率	—	106.6%
全日本原油 C I F 価格	65ドル/バレル程度	62ドル/バレル程度
為替レート (インターバンク)	120 円/ドル程度	123 円/ドル程度